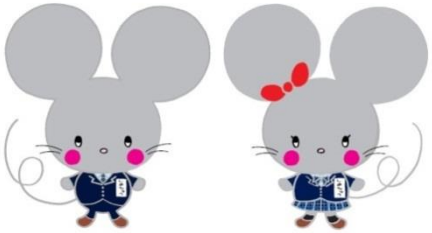
第13回GISシンポジウム
高校生だってGIS！
ふるさとを見える化する！

ふるさと教育とGIS



平成２６年１２月５日
於　益田市立保健センター

島根県立島根中央高等学校
教諭　江川数司

島根中央高校について…

・平成19年　川本高校と邑智高校が統合

・教育目標
(1)自他を尊重し、共に学び高め合うことのできる生徒を育てる
(2)一人一人が自分の夢を見つけ、その夢に向かって自ら努力することのできる生徒を育てる
(3)地域の自然や文化を学び、地域を愛し大切にする生徒を育てる
(4)勤労の意義と価値を認識し、社会と豊かな関係を築くことのできる生徒を育てる

・普通科　コース・総合選択制…コースの枠をこえた科目選択も可能

人文科学コース 自然科学コース	…5教科中心カリキュラム、大学等への進学
現代ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ 地域創造コース	…実習系教科中心カリキュラム、企業等への就職

学校設定教科…「ふるさと学」内容①

シラバス①

教科	科目	履修学年	コース	単位数	必修・選択
ふるさと学	ふるさと学	２年 ３年	地域創造ｺｰｽ 現代ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ	２単位 １単位	コース指定科目
学習内容	地域を学習の場とし、主に体験学習を通して地域社会の歴史、文化、経済や自然について理解を深めるとともに、地域社会の抱える課題や可能性を考察する。				
目　標	将来、地域社会において心身ともに豊かな生活を送るとともに地域社会に貢献するために必要な基礎的素養や知識、技術、態度を養う。				
授業形態	講義・体験実習・調査研究・発表				
使用教材	ふるさと学ファイル・「NAVI島根2014」				
評価の観点	関心・意欲・態度	知識・理解	思考・判断・表現	資料活用の技能	
評価規準	講義や体験実習に意欲をもって取り組む姿勢を継続することができる。	学習内容の概要を文章で表現することができる。	調査対象を研究した内容に自分なりの分析を加えることができる。	発表内容を写真や掲示資料、新聞、プレゼンテーション・ソフト、GISを利用してまとめることができる。	
評価方法	観察・感想文	レポート・テスト	レポート・発表	発表	
学習方法	講義、体験学習、発表会等に意欲的に参加し、学んだことを確実に記録しておく。発表会の資料作成においては自分の考えをしっかりと反映させてまとめること。また、発表のしかたにも工夫を凝らして、観る人・聴く人にわかりやすく、面白く伝えること。感想文やレポートでは規定字数までしっかり記入し、漢字を多用するなど読みやすい文章を書くように心がけること。				

学校設定教科…「ふるさと学」内容②

シラバス②

年間学習計画					
2年					
1学期		2学期		3学期	
4月	石見銀山 保全活動	9～11 月	Web―GIS・NIEを利用したふるさと研究	1～3月	ふるさと 講演
5月	中山間地域研究センターにおける体験学習	11月	石見銀山 保全活動	3月	まとめ （NIE）
7月	島根県学習				

年間学習計画					
3年					
1学期		2学期		3学期	
4月	石見銀山 保全活動	10月	アクアスでの 生態観察・飼育学習	12月	年間まとめ （NIE）
5月	カヌーの里での カヌー体験講習	10～11 月	ふるさとを英語で 表現する		
6月	鴨山記念館・鴨山公園周辺のフィールドワーク	12月	江川太鼓の歴史 楽器、演奏方法等の学習		

学校設定教科…「ふるさと学」内容③

・平成２０年度より開講

前年度、島根中央高校開校

当初は地域創造コースの特色ある学校設定教科として開講

・ねらい

地域を学習の場とし、主に体験学習を通して地域社会の歴史、文化、経済や自然について理解を深めるとともに、地域社会の抱える課題や可能性を考察し、将来、地域社会において心身ともに豊かな生活を送るとともに地域社会に貢献するために必要な基礎的素養や知識、技術、態度を養う。

・　授業時間はまとめ取りで確保

学校設定教科…「ふるさと学」内容④

・カリキュラム・履修対象

現代ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ
地域創造コース
…2学年2単位・3学年1単位

・授業担当

2学年…地歴・公民科及び
ユネスコ担当・魅力活性化スタッフが担当
3学年…国語科・理科・体育科・芸術科・英語科の
持ち回りで担当

学校設定教科…「ふるさと学」内容⑤

「ふるさと学」学習内容　第2学年（70時間　2単位）

・4月　オリエンテーション・石見銀山保全活動（竹林の伐採等）

・5月　中山間地域研究センターにおける体験学習および発表

（畜産・日曜大工・木材加工）

・7月　島根県学習（準教科書「NAVI島根」使用）

・9～11月　Web-GIS・NIEを利用したふるさと研究

（フィールドワーク後に調査内容を県ホームページ「マップonしまね」

の地図上に掲載、また「ふるさと研究新聞」を作成）

石見銀山保全活動

・1～2月　ふるさと講演（川本町・美郷町関係者による講演会）

・2～3月　まとめ（「ふるさと学を学んで」を新聞社へ投書）

学校設定教科…「ふるさと学」内容⑥

「ふるさと学」学習内容　第3学年（35時間　1単位）

・4月　オリエンテーション

ユネスコ担当・・石見銀山保全活動（竹林の伐採等）

・5月　国語科・・ふるさとの民話学習・鴨山記念館見学および公園散策

・7月　体育科・・カヌー体験学習

・10月　理科・・ふるさとの生物学習・水族館アクアス見学

・11月　英語科・・英語によるふるさと紹介

ユネスコ担当・・銀山ウォーク（銀山街道を実際に歩く）

・12月　芸術科・・江川太鼓体験学習

・1月　まとめ・・年間学習のまとめレポート作成および発表

「ふるさと学」の風景①

中山間地域研究センター　①

「ふるさと学」の風景②

中山間地域研究センター　②

「ふるさと学」の風景③

中山間地域研究センター学習発表会

「ふるさと研究」とGIS①

「ふるさと研究」計画（今年度）

実施日	時	内　　容	場所
１０月　８日 （水）	１限	【フィールドワーク事前説明①】 グループ分け、役割分担、注意事項説明 取材方法の確認	多目的教室４
１０月　９日 （木）	７限	【フィールドワーク事前説明②】 ふるさと研究新聞作成のために インタビューのしかた・記事のまとめ方	多目的教室４
１０月１４日 （火）	１～ ７限	【フィールドワーク①】 ４グループに分かれて、体験を交えた調査活動	各所
１０月１５日 （水）	１～ ４限	【フィールドワーク②】 ４グループに分かれて、体験を交えた調査活動	各所
	５～ ６限	【フィールドワークまとめ】 グループに分かれて体験調査内容をまとめる	多目的教室４ 第２ＰＣ教室
１０月２３日 （木）	１～ ２限	【Ｗｅｂ－ＧＩＳ講義・実習①】 『Ｗｅｂ－ＧＩＳ活用講座』 講師：中山間地域研究センター職員 内容：Ｗｅｂ－ＧＩＳとは何か、その活用	第２ＰＣ教室
１０月２９日 （水）	１限	【Ｗｅｂ－ＧＩＳ実習②】 Ｗｅｂ－ＧＩＳに書き込み、点検	第２ＰＣ教室
１０月３０日 （木）	７限	【ふるさと研究新聞作成説明】 新聞のルール・新聞の構成・記事の書き方	多目的教室４
１１月　５日 （水）	１限	【ふるさと研究新聞作成①】 Ａ３判の新聞を作成	多目的教室４
１１月　６日 （木）	７限	【ふるさと研究新聞作成②】 Ａ３判の新聞を作成	多目的教室４
１１月１２日 （水）	１限	【ふるさと研究新聞作成③】 新聞完成後、校内に掲示	多目的教室４

「ふるさと研究」とGIS②

「ふるさと研究」フィールドワーク　調査用紙内容

1. 団体（会社、事業所）の名称、代表者名
2. 団体（会社、事業所）を立ち上げた時の理念・目標
3. 団体（会社、事業所）の事業内容
4. 事業と地域社会とのつながり
5. 今後の事業の方向性、将来計画
6. 体験した作業内容
7. 作業上の留意点
8. 作業した感想
9. その他（働いている方へのインタビュー・特ダネ・感想など）

「ふるさと研究」とGIS③

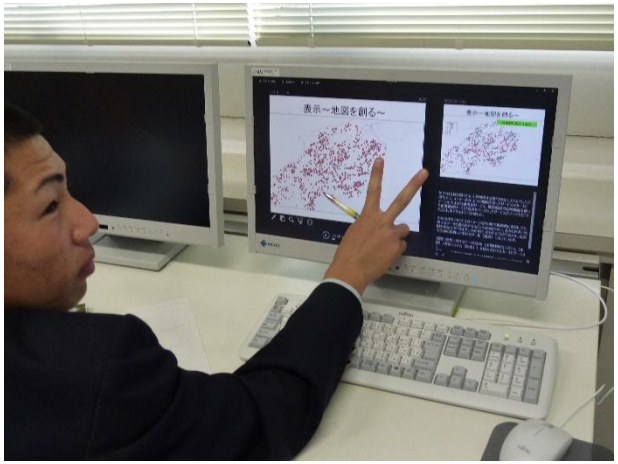
ふるさと研究　実習・調査の様子①

「ふるさと研究」とGIS④

ふるさと研究　実習・調査の様子②

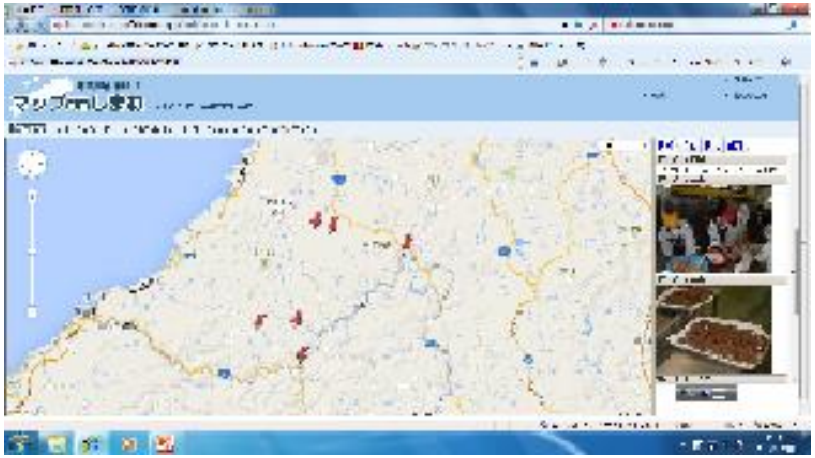
「ふるさと研究」とGIS⑤

GIS活用講座から…



「ふるさと研究」とGIS⑥

…マップonしまねへ



「ふるさと研究」とGIS⑦

その他…ふるさと研究新聞作成　など

「ふるさと学」の風景　その他①

石見銀山保全活動（竹の伐採・搬送）
－ユネスコスクール活動－

「ふるさと学」の風景　その他②

カヌー体験学習

ふるさと教育の効用①

島根中央高校の現状

・生徒数・学級数（平成26年7月現在）
男子128人　女子98人　計226人
学年3クラス・全9クラス
・出身中学（平成26年度）
県内33校　　県外28校　計61校
・寮生（平成26年7月現在）
江風寮…男子47人・女子23人
川本町学習交流センター…男子22人
計92人

学校の魅力向上

生徒募集

人間関係づくり

基盤として…
生徒の自尊感情を高める必要性

ふるさと教育の効用②

「学校における『いじめの防止』『早期発見』『いじめに対する措置』のポイント」（文科省）より

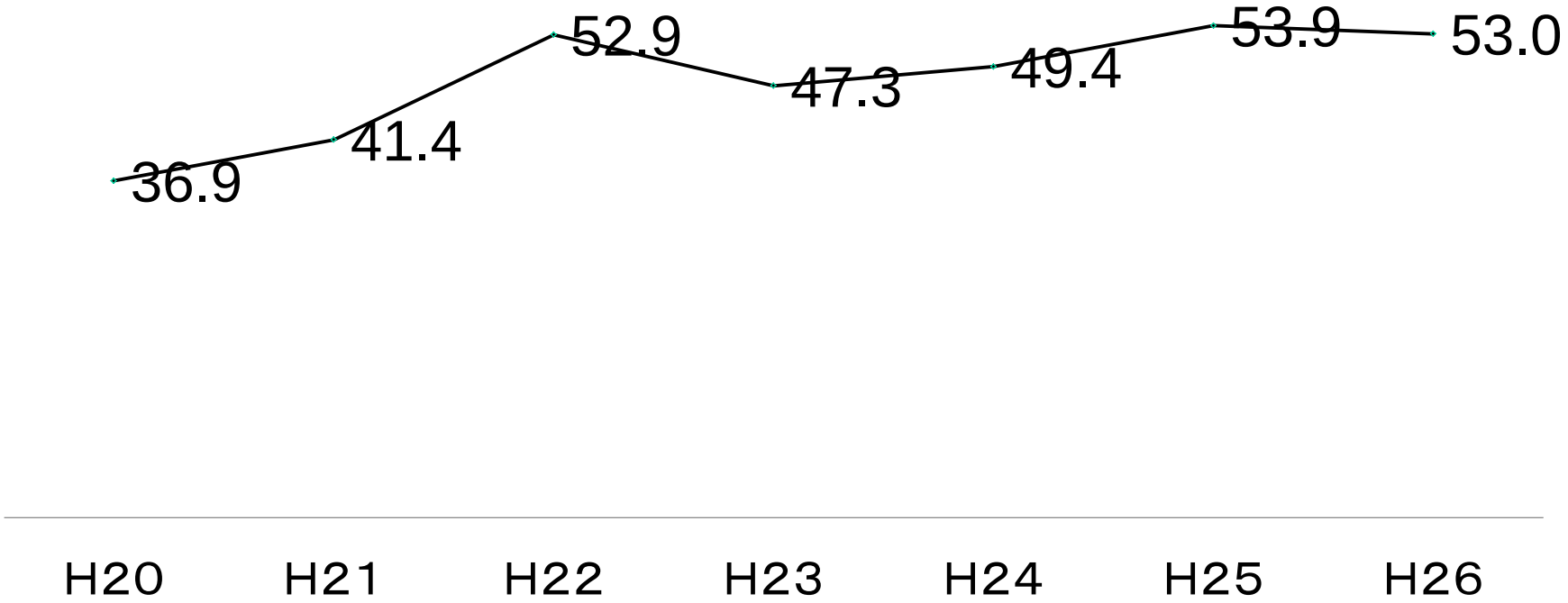
「全ての児童生徒が、認められている、満たされているという思いを抱くことができるよう、学校の教育活動全体を通じ、児童生徒が活躍でき、他者の役に立っていると感じ取ることのできる機会を全ての児童生徒に提供し、児童生徒の自己有用感が高められるよう努める。その際、当該学校の教職員はもとより、家庭や地域の人々などにも協力を求めていくことで、幅広い大人から認められているという思いが得られるよう工夫することも有効である。また、自己肯定感を高められるよう、困難な状況を乗り越えるような体験の機会などを積極的に設けることも考えられる。」

ふるさと教育の効用③

人権に関する意識調査集計より…年度推移

・質問. あなたは学校生活の中で、自分に自信の持てる物事がありますか。

たくさんある・少しある（%）

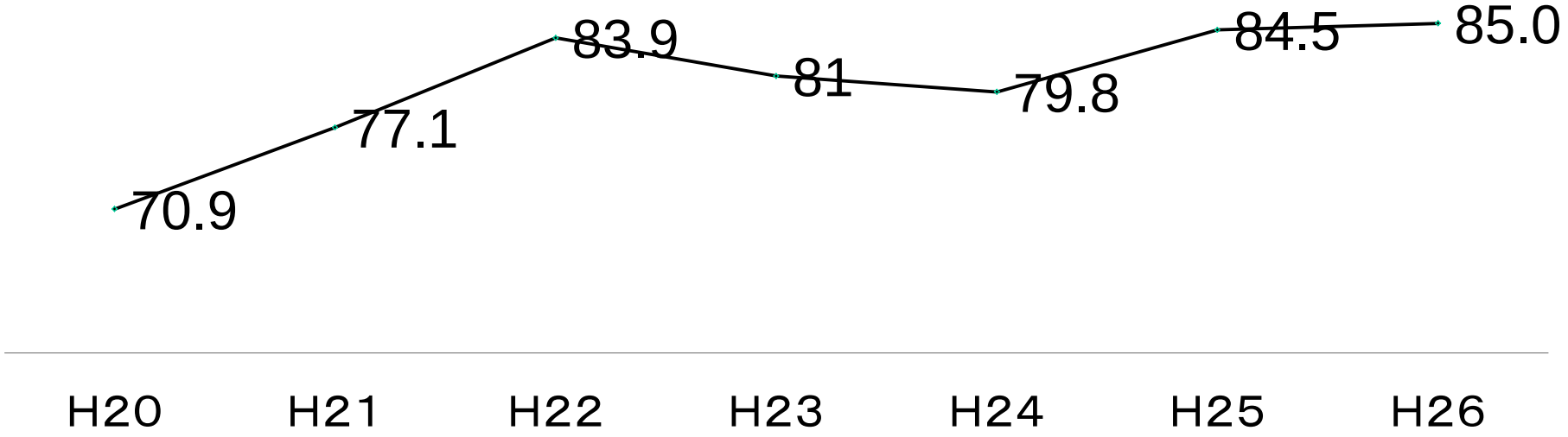


ふるさと教育の効用④

人権に関する意識調査集計より…年度推移

・質問. あなたは学校生活の中で、先生から大切にされていると思いますか。

とても大切にされている
まあまあ大切にされている（%）



もうひとつのふるさと教育…「まちキャン」①

・平成25年度より開講

正式名称「まちごとｷｬﾝﾊﾟｽ学習」（学校設定教科）・ねらい

社会的・職業的自立に向け、地域で働くことの実際を学び、生涯にわたって豊かな生活を送り地域のリーダーとして活躍できる能力と態度を育てる。

・内容…１～３人ずつ川本町内18か所の事業所で毎週2時間の職場実習を１年間行う。

・カリキュラム・履修対象

現代ﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ
地域創造コース

… ２学年２単位

・授業担当

教務部・体育科・芸術科・家庭科・商業科・キャリア教育担当

もうひとつのふるさと教育…「まちキャン」②

実習の様子①

もうひとつのふるさと教育…「まちキャン」③

実習の様子②

もうひとつのふるさと教育…「まちキャン」④

成果発表会

今後のGIS活用について

今後の方向性

ふるさと学でのGISの新しい活用

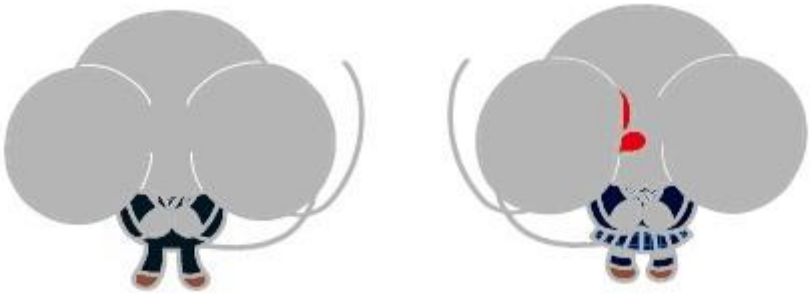
・銀山保全活動での保全状況マップの作成

・「まちづくり政策提言」など、ワークショップ方式による協働活動での活用

ふるさと学以外でのGIS活用

・「まちキャン」の各事業所での活動報告に活用

・商業科・家庭科の課題研究での活用

・理科・地歴公民科の環境学習や歴史学習での活用

ご静聴ありがとうございました